



よし だ ひろ やす
吉田 博 康



けん と
県都クラブ

コロナの感染状況に左右されない学習準備は

問 津市は、8月27日から緊急事態宣言の対象地域となり、教育委員会も2学期の学校再開に向けて活動方針を発表した。

感染状況に左右されない学習準備として、小中学校にウイルスを持ち込ませない学校内での感染拡大を防ぐ検温等のチェック体制の強化は。

また、午後は自宅等でのオンライン学習となるが、学年別のオンライン学習への工夫は。

学びを保障する体制の充実にさらに努める

答 検温等のチェック体制の強化として、文部科学省の衛生管理マニュアルに基づき、新学期からは、登校時や校舎等に入る前の児童生徒の健康状態の把握に加え、同居家族の体調不良時の登校自粛を要請するなど、これまで以上に徹底した取り組みを行っている。また、三重とこわか国体のために準備された非接触型体温計を学校等で活用できるように調整している。

オンライン学習については、発達段階に応じ、さまざまな場面で積極的に進めてきたところであり、今後も、効果的なオンライン学習ができるよう、成果と課題を検証し、学びを保障する体制の充実にさらに努める。

●その他の質疑・質問●

- コミュニティバスについて
 - 新ルートに対する市民の反応とルートに対する課題対応は
 - 今後のルート評価の考え方は
- 新型コロナウイルス感染者の急激な増加による消防への影響について
 - 一般の救急搬送への影響は
 - 新型コロナウイルス患者（疑い含む）の搬送状況は
 - 感染者増加による今後の課題は など



▲新型コロナウイルス患者の急増は一般救急への影響が懸念される



たけした さちこ
竹下 幸智子



にほんきょうさんどう つしぎだん
日本共産党津市議団

学校でも大規模検査で感染の封じ込めを

問 文部科学省は、学校内で新型コロナウイルス感染者が発生した場合の「対応ガイドライン」を8月27日に発表した。

学校や教室で感染者が発生した場合、検査をして封じ込めないと感染が広がる恐れがある。濃厚接触者を狭く見ず、実態に応じ、学級・学年・全校など広めのPCR検査等を行政検査として行うよう県に求めるべきと考えるがどうか。

保健所との連携および要望に努める

答 学校内において感染者が発生した場合、学校と協力の下、保健所にしっかりと調査を行っていただき、現場の状況に応じて濃厚接触者が特定されることになる。また、それを基に検査の必要性が判断されることになる。

これまでも保健所と教育委員会で連携して対応してきているところであるが、検査方法等に関してこうした声があることを伝えていく。



●その他の質疑・質問●

- 国民健康保険料の引き下げを
 - 子どもの均等割をなくせ
 - 1世帯1万円の引き下げを
- 新型コロナウイルス感染拡大の中、安心安全な新学期を
 - 教室の密の回避を
 - 給食時の感染防止を
 - 現在の濃厚接触者に対する検査の状況は
 - 教職員のワクチン接種の現状は など



▲密集した中学校の教室、感染防止のためにも少人数学級を